

## ■ボタンの名称と表示の切替

この時計は、以下の機能を備えています。

### 「時刻・カレンダー機能」

- 月、日、曜日、時、分、秒を表示し、12時間制/24時間制の切り替えができます。
- 2014年1月1日から2063年12月31日まで050年間、うるう年などの月修正がいらぬ「フルオートカレンダー」です。

### 「報時機能」

- 報時マークをONにすると、毎正時およびボタン操作のたびにピッと鳴ります。

### 「クロノグラフ機能」

- 1/100秒単位で最大9時間59分59秒99まで計測できます。
- 最大99ラップのラップ/スプリットタイムを記憶することができます。

### 「データリコール機能」

- クロノグラフ機能で計測したデータ（ラップNo.、ラップタイム、スプリットタイム）を計測後および計測中に呼び出し、確認することができます。
- バストラップタイムと平均ラップタイムを表示します。

### 「アラーム機能」

- 毎日1回設定した時刻（時・分）にアラームを鳴らすことができます。
- アラーム音の試し聞きも可能です。

### 「デュアルタイム機能」

- 時刻・カレンダー表示とは異なる別の時刻を設定・表示することができます。

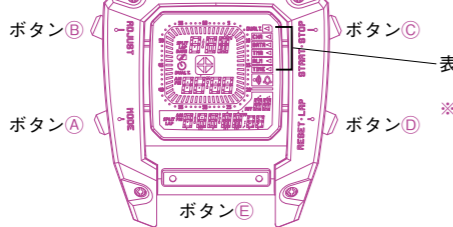
### 「電池寿命切れ予告機能」

- 電池の交換時期を知らせる機能が付いています。

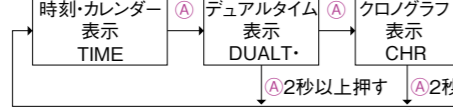
### 「内部照明機能」(LEDバックライト)

- どの表示でも、専用ボタンを押すごとに約2秒間バックライトが点灯します。

## ■時刻・カレンダーの合わせかた



●ボタンAを押すごとに、表示が次の順序で切り替わります。

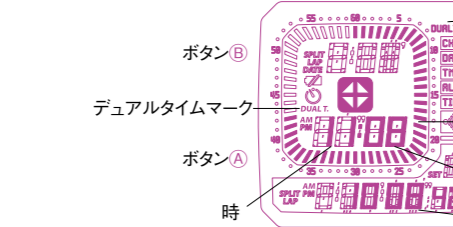


※「アラーム表示」以外の表示が画面上にある時にボタンBを2秒以上押し続けると、「時刻・カレンダー表示」に直接移行します。

## ■デュアルタイムの使い方

・時刻・カレンダー表示で設定した時刻とは異なる別の時刻を設定・表示することができます。ただしカレンダーは表示されません。

- ボタンの名称とはらき
- ボタンAを押して「デュアルタイム表示」にしてください。

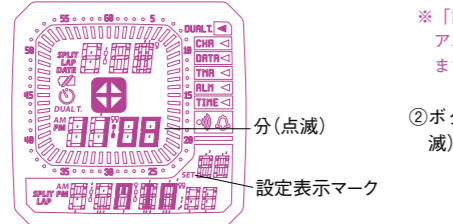


ボタンA: デュアルタイム表示への切り替え  
ボタンB: 修正箇所(点滅)の選択  
ボタンC(長押し): デュアルタイム合状態への移行  
ボタンD: デュアルタイム合状態の解除  
ボタンE: 修正箇所(点滅)の合わせ(進み)  
ボタンF: 修正箇所(点滅)の合わせ(戻り)  
ボタンG: 内部照明の点灯

※「デュアルタイム表示」では「デュアルタイムマーク」(DUAL)が表示されます。「時」は表示されず、グラフィック表示のセグメントが順次点灯して「秒」の経過を示します。

### (2) デュアルタイムの合わせかた

- 「デュアルタイム表示」でボタンBを2秒以上押し続け、「デュアルタイム合状態」状態にしてください。「分」が点滅します。



- 設定したい箇所(点滅)を選択したあと、ボタンCまたはボタンDを押し数字を合わせます。ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、ボタンDを押すごとに1つずつ戻ります。

- ボタンCまたはボタンDを押し続けると、早送りできます。
- 設定がすべて終わりましたら、ボタンBを1回押して「デュアルタイム合状態」状態を解除し「デュアルタイム表示」に戻してください。

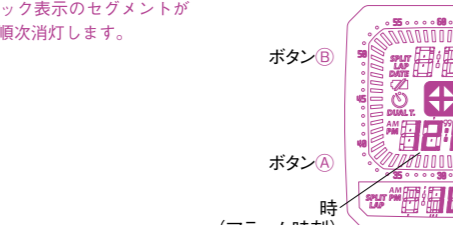
※押し忘れた場合でも、2~3分後には「デュアルタイム表示」へ自動的に戻ります。

## ■アラームの使いかた

### (3) タイマーの使い方

- 毎日1回設定した時刻（時・分）にアラームを鳴らすことができます。
- アラームのON/OFF設定ができます。

- ボタンの名称とはらき



- ボタンAを押すごとに、タイマーは減算を開始します。リピート回数が「2」以上の場合、タイマーはタイムアップ後に減算を再開し、設定した回数分減算を繰り返します。

- 途中でタイマーを止めるには、ボタンCを押します。再開する場合もボタンCを押します。

- 計測途中のストップ、再スタートは何回でも繰り返すことができます。

- タイマー計測の終了後、タイマーは自動的にリセットされ「タイマー表示」に戻ります。途中でリセットする場合は、タイマーがストップした状態でボタンBを押します。

※タイマー計測中は、タイマーマーク(Ⓜ)が点滅し、グラフィック表示のセグメントが秒の減算に合わせて順次点灯します。

※「アラーム表示」の「時」は、「時刻・カレンダー表示」の設定にたがひ、12または24時間制で表示されます。

ボタンA: アラーム表示への切り替え  
ボタンB: 修正箇所(点滅)の選択  
ボタンC(長押し): アラーム時刻合わせ状態への移行  
ボタンD: アラーム合状態の解除  
ボタンE: 修正箇所(点滅)の合わせ(進み)  
ボタンF: 修正箇所(点滅)の合わせ(戻り)  
ボタンG: 内部照明の点灯

ボタンAを押すごとに、修正箇所(点滅)が以下の順序で切り替わります。

③設定したい箇所(点滅)を選択したあと、ボタンCまたはボタンDを押し数字を合わせます。ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、ボタンDを押すごとに1つずつ戻ります。

※ボタンCまたはボタンDを押し続けると、早送りできます。

●電池交換後および異常な表示をした場合には、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ正常に機能することができます。

●電池交換後、必ずお買い上げ店または、取扱店で「純正電池」とご指定の上、ご用命ください。

●電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

●電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。

●この時計には、電池の交換時期を知らせる電池寿命切れ予告機能が付いています。

※「時刻表示」のときに全ての点灯セグメントが点滅状態になりますと、2~3日中に時計が止まる可能性があります。お早にお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

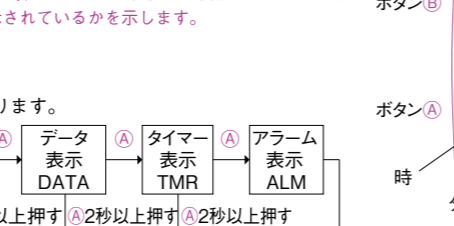
## ■時刻・カレンダーの合わせかた

- 12時間制/24時間制の切り替えができます。
- うるう年などの修正がいらぬフルオートカレンダーです。

- 報時をONにすると、毎正時およびボタン操作のたびにピッと鳴ります。

- ボタンの名称とはらき

- ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」にしてください。

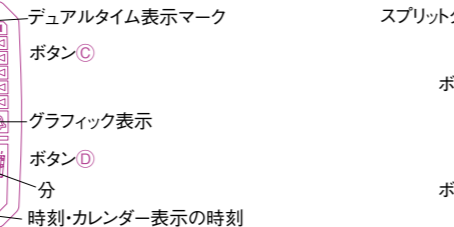


ボタンA: 時刻・カレンダー表示への切り替え  
ボタンB: 修正箇所(点滅)の選択  
ボタンC(長押し): 時刻・カレンダー合状態への移行  
ボタンD: 時刻・カレンダー合状態の解除  
ボタンE: 修正箇所(点滅)の合わせ(進み)  
ボタンF: 修正箇所(点滅)の合わせ(戻り)  
ボタンG: 同時押し: アラーム音の確認  
ボタンH: 内部照明の点灯

## ■クロノグラフの使い方

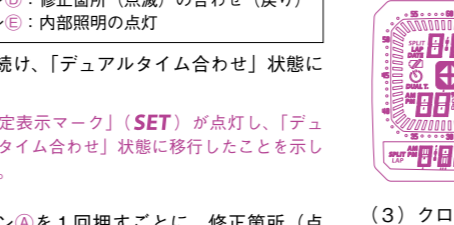
・1/100秒単位で最大9時間59分59秒99まで計測できます。

- 最大99ラップのラップ/スプリットタイムを記憶することができます。
- ボタンAを押して「クロノグラフ表示」にしてください。



ボタンA: クロノグラフ表示への切り替え  
ボタンB: ラップ/スプリットタイムの表示位置の入れ替え  
ボタンC: クロノグラフのスタート/ストップ  
ボタンD: ラップタイム計測/クロノグラフのリセット  
ボタンE: 内部照明の点灯

●ボタンAを押すごとに、ラップタイムとスプリットタイムの表示位置が、画面の上段または下段に入れ替わります。



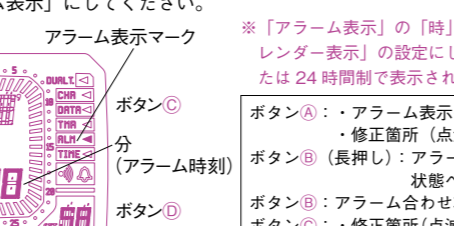
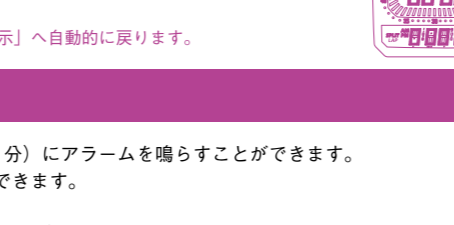
※計測中はグラフィック表示のセグメントが順次点灯し、円を描きます。ストップするとグラフィック表示の動きも止まります。

### (3) クロノグラフ計測の方法

※計測中はグラフィック表示のセグメントが順次点灯し、円を描きます。ストップするとグラフィック表示の動きも止まります。

※今回は上段がスプリットタイム表示の場合です。

### ●普通の計測(積算タイムの計測)



ボタンAを押すごとに、修正箇所(点滅)が以下の順序で切り替わります。

③設定したい箇所(点滅)を選択したあと、ボタンCまたはボタンDを押し数字を合わせます。ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、ボタンDを押すごとに1つずつ戻ります。

※ボタンCまたはボタンDを押し続けると、早送りできます。

●電池交換後および異常な表示をした場合には、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ正常に機能することができます。

●電池交換後、必ずお買い上げ店または、取扱店で「純正電池」とご指定の上、ご用命ください。

●電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

●電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。

●この時計には、電池の交換時期を知らせる電池寿命切れ予告機能が付いています。

※「時刻表示」のときに全ての点灯セグメントが点滅状態になりますと、2~3日中に時計が止まる可能性があります。お早にお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

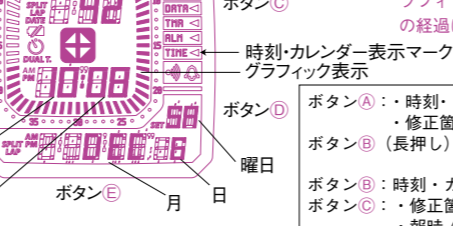
## ■時刻・カレンダーの合わせかた

- 12時間制/24時間制の切り替えができます。
- うるう年などの修正がいらぬフルオートカレンダーです。

- 報時をONにすると、毎正時およびボタン操作のたびにピッと鳴ります。

- ボタンの名称とはらき

- ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」にしてください。

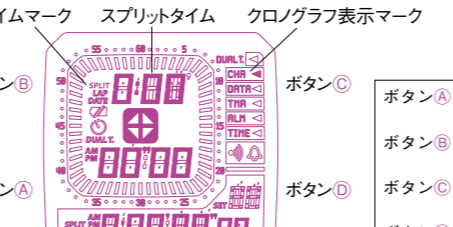


ボタンA: 時刻・カレンダー表示への切り替え  
ボタンB: 修正箇所(点滅)の選択  
ボタンC(長押し): 時刻・カレンダー合状態への移行  
ボタンD: 時刻・カレンダー合状態の解除  
ボタンE: 修正箇所(点滅)の合わせ(進み)  
ボタンF: 修正箇所(点滅)の合わせ(戻り)  
ボタンG: 同時押し: アラーム音の確認  
ボタンH: 内部照明の点灯

## ■クロノグラフの使い方

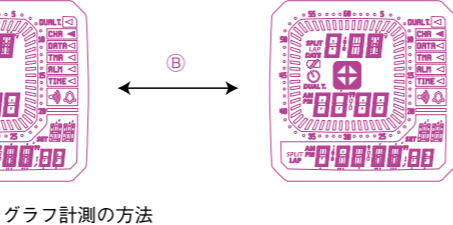
・1/100秒単位で最大9時間59分59秒99まで計測できます。

- 最大99ラップのラップ/スプリットタイムを記憶することができます。
- ボタンAを押して「クロノグラフ表示」にしてください。



ボタンA: クロノグラフ表示への切り替え  
ボタンB: ラップ/スプリットタイムの表示位置の入れ替え  
ボタンC: クロノグラフのスタート/ストップ  
ボタンD: ラップタイム計測/クロノグラフのリセット  
ボタンE: 内部照明の点灯

●ボタンAを押すごとに、ラップタイムとスプリットタイムの表示位置が、画面の上段または下段に入れ替わります。



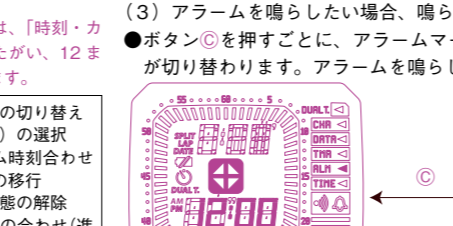
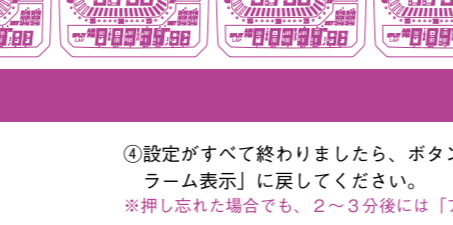
※計測中はグラフィック表示のセグメントが順次点灯し、円を描きます。ストップするとグラフィック表示の動きも止まります。

### (3) クロノグラフ計測の方法

※計測中はグラフィック表示のセグメントが順次点灯し、円を描きます。ストップするとグラフィック表示の動きも止まります。

※今回は上段がスプリットタイム表示の場合です。

### ●普通の計測(積算タイムの計測)



ボタンAを押すごとに、修正箇所(点滅)が以下の順序で切り替わります。

③設定したい箇所(点滅)を選択したあと、ボタンCまたはボタンDを押し数字を合わせます。ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、ボタンDを押すごとに1つずつ戻ります。

※ボタンCまたはボタンDを押し続けると、早送りできます。

●電池交換後および異常な表示をした場合には、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ正常に機能することができます。

●電池交換後、必ずお買い上げ店または、取扱店で「純正電池」とご指定の上、ご用命ください。

●電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

●電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。

●この時計には、電池の交換時期を知らせる電池寿命切れ予告機能が付いています。

※「時刻表示」のときに全ての点灯セグメントが点滅状態になりますと、2~3日中に時計が止まる可能性があります。お早にお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

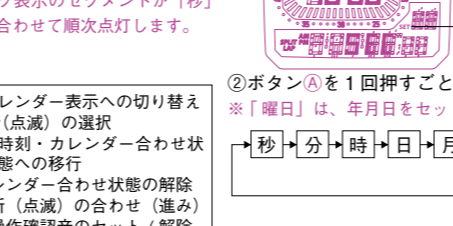
## ■時刻・カレンダーの合わせかた

- 12時間制/24時間制の切り替えができます。
- うるう年などの修正がいらぬフルオートカレンダーです。

- 報時をONにすると、毎正時およびボタン操作のたびにピッと鳴ります。

- ボタンの名称とはらき

- ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」にしてください。

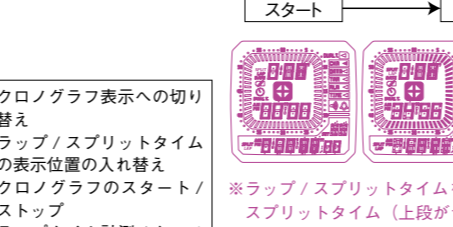


ボタンA: 時刻・カレンダー表示への切り替え  
ボタンB: 修正箇所(点滅)の選択  
ボタンC(長押し): 時刻・カレンダー合状態への移行  
ボタンD: 時刻・カレンダー合状態の解除  
ボタンE: 修正箇所(点滅)の合わせ(進み)  
ボタンF: 修正箇所(点滅)の合わせ(戻り)  
ボタンG: 同時押し: アラーム音の確認  
ボタンH: 内部照明の点灯

## ■クロノグラフの使い方

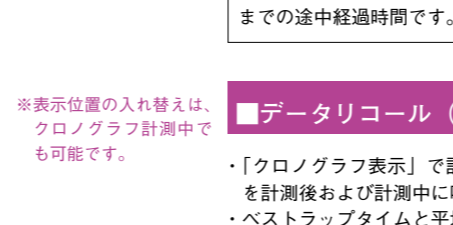
・1/100秒単位で最大9時間59分59秒99まで計測できます。

- 最大99ラップのラップ/スプリットタイムを記憶することができます。
- ボタンAを押して「クロノグラフ表示」にしてください。



ボタンA: クロノグラフ表示への切り替え  
ボタンB: ラップ/スプリットタイムの表示位置の入れ替え  
ボタンC: クロノグラフのスタート/ストップ  
ボタンD: ラップタイム計測/クロノグラフのリセット  
ボタンE: 内部照明の点灯

●ボタンAを押すごとに、ラップタイムとスプリットタイムの表示位置が、画面の上段または下段に入れ替わります。



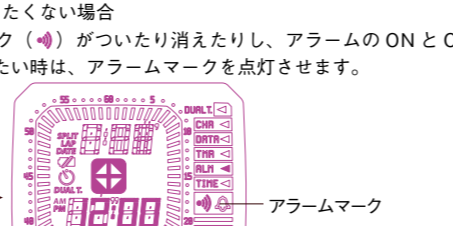
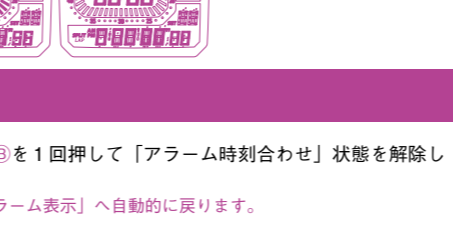
※計測中はグラフィック表示のセグメントが順次点灯し、円を描きます。ストップするとグラフィック表示の動きも止まります。

### (3) クロノグラフ計測の方法

※計測中はグラフィック表示のセグメントが順次点灯し、円を描きます。ストップするとグラフィック表示の動きも止まります。

※今回は上段がスプリットタイム表示の場合です。

### ●普通の計測(積算タイムの計測)



ボタンAを押すごとに、修正箇所(点滅)が以下の順序で切り替わります。

③設定したい箇所(点滅)を選択したあと、ボタンCまたはボタンDを押し数字を合わせます。ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、ボタンDを押すごとに1つずつ戻ります。

※ボタンCまたはボタンDを押し続けると、早送りできます。

●電池交換後および異常な表示をした場合には、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ正常に機能することができます。

●電池交換後、必ずお買い上げ店または、取扱店で「純正電池」とご指定の上、ご用命ください。

●電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

●電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。

●この時計には、電池の交換時期を知らせる電池寿命切れ予告機能が付いています。

※「時刻表示」のときに全ての点灯セグメントが点滅状態になりますと、2~3日中に時計が止まる可能性があります。お早にお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

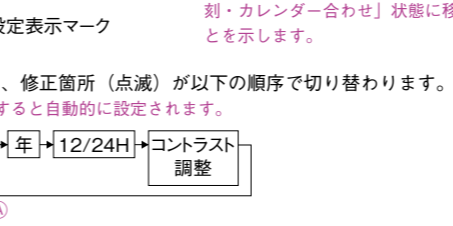
## ■時刻・カレンダーの合わせかた

- 12時間制/24時間制の切り替えができます。
- うるう年などの修正がいらぬフルオートカレンダーです。

- 報時をONにすると、毎正時およびボタン操作のたびにピッと鳴ります。

- ボタンの名称とはらき

- ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」にしてください。

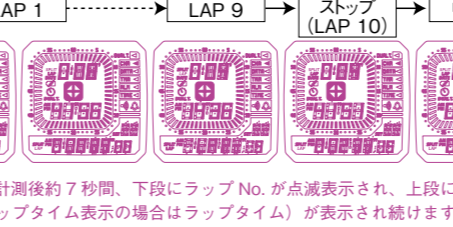


ボタンA: 時刻・カレンダー表示への切り替え  
ボタンB: 修正箇所(点滅)の選択  
ボタンC(長押し): 時刻・カレンダー合状態への移行  
ボタンD: 時刻・カレンダー合状態の解除  
ボタンE: 修正箇所(点滅)の合わせ(進み)  
ボタンF: 修正箇所(点滅)の合わせ(戻り)  
ボタンG: 同時押し: アラーム音の確認  
ボタンH: 内部照明の点灯

## ■クロノグラフの使い方

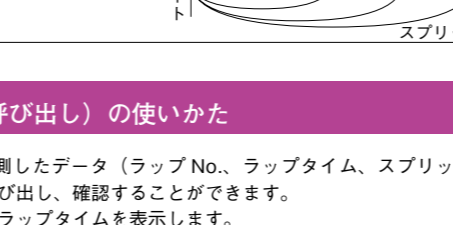
・1/100秒単位で最大9時間59分59秒99まで計測できます。

- 最大99ラップのラップ/スプリットタイムを記憶することができます。
- ボタンAを押して「クロノグラフ表示」にしてください。



ボタンA: クロノグラフ表示への切り替え  
ボタンB: ラップ/スプリットタイムの表示位置の入れ替え  
ボタンC: クロノグラフのスタート/ストップ  
ボタンD: ラップタイム計測/クロノグラフのリセット  
ボタンE: 内部照明の点灯

●ボタンAを押すごとに、ラップタイムとスプリットタイムの表示位置が、画面の上段または下段に入れ替わります。



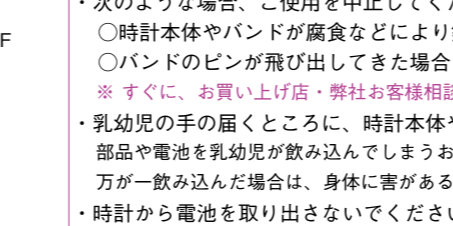
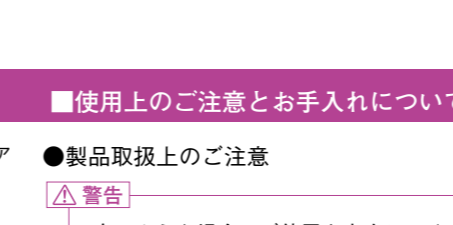
※計測中はグラフィック表示のセグメントが順次点灯し、円を描きます。ストップするとグラフィック表示の動きも止まります。

### (3) クロノグラフ計測の方法

※計測中はグラフィック表示のセグメントが順次点灯し、円を描きます。ストップするとグラフィック表示の動きも止まります。

※今回は上段がスプリットタイム表示の場合です。

### ●普通の計測(積算タイムの計測)



ボタンAを押すごとに、修正箇所(点滅)が以下の順序で切り替わります。

③設定したい箇所(点滅)を選択したあと、ボタンCまたはボタンDを押し数字を合わせます。ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進み、ボタンDを押すごとに1つずつ戻ります。

※ボタンCまたはボタンDを押し続けると、早送りできます。

●電池交換後および異常な表示をした場合には、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ正常に機能することができます。

●電池交換後、必ずお買い上げ店または、取扱店で「純正電池」とご指定の上、ご用命ください。

●電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

●電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。

●この時計には、電池の交換時期を知らせる電池寿命切れ予告機能が付いています。

※「時刻表示」のときに全ての点灯セグメントが点滅状態になりますと、2~3日中に時計が止まる可能性があります。お早にお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

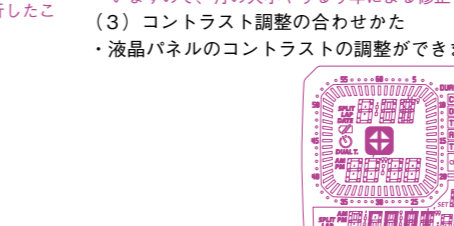
## ■時刻・カレンダーの合わせかた

- 12時間制/24時間制の切り替えができます。
- うるう年などの修正がいらぬフルオートカレンダーです。

- 報時をONにすると、毎正時およびボタン操作のたびにピッと鳴ります。

- ボタンの名称とはらき

- ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」にしてください。

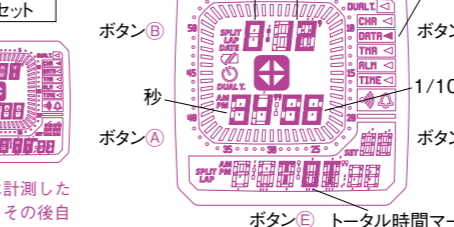


ボタンA: 時刻・カレンダー表示への切り替え  
ボタンB: 修正箇所(点滅)の選択  
ボタンC(長押し): 時刻・カレンダー合状態への移行  
ボタンD: 時刻・カレンダー合状態の解除  
ボタンE: 修正箇所(点滅)の合わせ(進み)  
ボタンF: 修正箇所(点滅)の合わせ(戻り)  
ボタンG: 同時押し: アラーム音の確認  
ボタンH: 内部照明の点灯

## ■クロノグラフの使い方

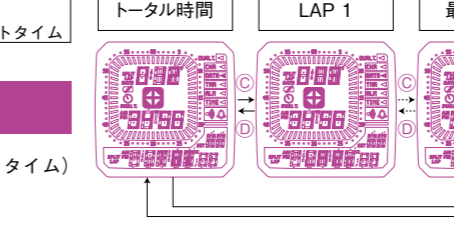
・1/100秒単位で最大9時間59分59秒99まで計測できます。

- 最大99ラップのラップ/スプリットタイムを記憶することができます。
- ボタンAを押して「クロノグラフ表示」にしてください。



ボタンA: クロノグラフ表示への切り替え  
ボタンB: ラップ/スプリットタイムの表示位置の入れ替え  
ボタンC: クロノグラフのスタート/ストップ  
ボタンD: ラップタイム計測/クロノグラフのリセット  
ボタンE: 内部照明の点灯

●ボタンAを押すごとに、ラップタイムとスプリットタイムの表示位置が、画面の上段または下段に入れ替わります。



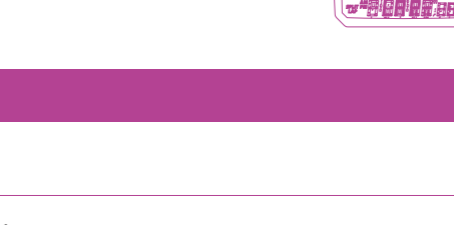
※計測中はグラフィック表示のセグメントが順次点灯し、円を描きます。ストップするとグラフィック表示の動きも止まります。

### (3) クロノグラフ計測の方法

※計測中はグラフィック表示のセグメントが順次点灯し、円を描きます。ストップするとグラフィック表示の動きも止まります。

※今回は上段がスプリットタイム表示の場合です。

### ●普通の計測(積算タイムの計測)



# WIRED

取扱説明書 説明書 W865  
INSTRUCTION 説明書 W865

## WIRED 説明書 W865

このたびは弊社ウォッチをお買いあげいただきありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上正しくご愛用ください。また、必要に応じて、必ずお読みください。お読みの上、大切に保管し、必要に応じてお読みください。

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。ご開帳、ご転売などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では修理もしくお取扱いいたさない場合があります。

※お買い上げ時の電池は、機能特性を確保するための電池（モニター電池）です。保証期間内でも電池交換は有料となります。

※商品に付属の保護フィルムがはがれていない場合は、必ずはがしてご使用ください。はがれたままにしてしまうと、汚れ、汗、ゴミ、水分が侵入して故障の原因となります。

※弊社商品についての修理やその他の情報は、「お買い上げ」で承っております。なお、ご不明の点は下記へお問い合わせください。

お客様相談室  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル  
〒550-0013 大阪府西区南堀 1-4-24 大阪西区南堀ビルディング

セイコーウォッチ株式会社  
社 105-8467 東京都港区南青山2-10-10  
http://www.seiko-watch.co.jp/

1503

Thank you very much for choosing our watch. For proper and safe use of your watch, please read carefully the instructions in this booklet before using the watch. Keep this manual handy for easy reference.

※Length adjustment service for metallic bands is available at the retailer from whom the watch was purchased. If you cannot have your watch repaired by the retailer from whom the watch was purchased because you received the watch as a gift, or you moved to a distant place, please contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.

※The service may also be available on a chargeable basis at other retailers, however, some retailers may not undertake the service.

※The pre-installed battery is used to check the function and performance of the watch. You will be charged for battery replacement even if the battery runs down within the guarantee period.

※If your watch has a protective film for preventing scratches, make sure to peel it off before using the watch. If the watch is used with the film on it, dirt, sweat, dust, or moisture may be attached to the film and may cause it.

## FEATURES

This watch is equipped with the following functions.

**TIME/CALENDAR**  
 • Month, date, day of the week, hour, minute and seconds can be displayed. Time indication can be changed over between 12- and 24-hour.  
 • The calendar adjusts automatically for odd and even months including February of leap years from January 1, 2014 to December 31, 2063.

**HOURLY TIME SIGNAL**  
 • When the Hourly Time Signal mark is shown on the display, a beep sounds every hour on the hour and with each press of any of the buttons.

**CHRONOGRAPH**  
 • The chronograph can measure up to 9 hours, 59 minutes and 59 seconds 99 in 1/100 second increments.  
 • Up to 99 laps of lap/split times can be stored in memory.

**DATA RECALL**  
 • The data (lap Nos. and lap/split times) measured in the chronograph function can be recalled and checked either after or during measurement.  
 • The best and average lap times are displayed.

**TIMER**  
 • The timer can be set from 10 seconds up to 9 hours, 59 minutes and 59 seconds in 1 second increments.  
 • It can be set to count down the set time repeatedly up to 99 times.

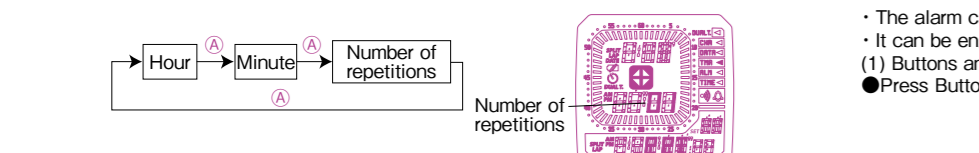
**ALARM**  
 • The alarm can be set to ring once a day at a designated time (hour and minute).  
 • The alarm sound can be tested.

**DUAL TIME**  
 • In addition to the time shown in the TIME/CALENDAR display, time of a different time zone can be set and displayed.

**BATTERY LIFE INDICATOR**  
 • A flashing battery mark appears on the display to indicate that the battery needs to be replaced with a new one.

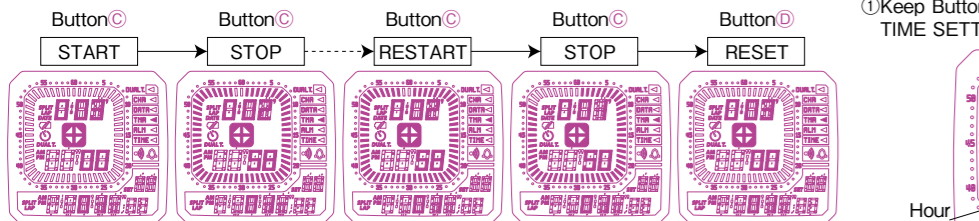
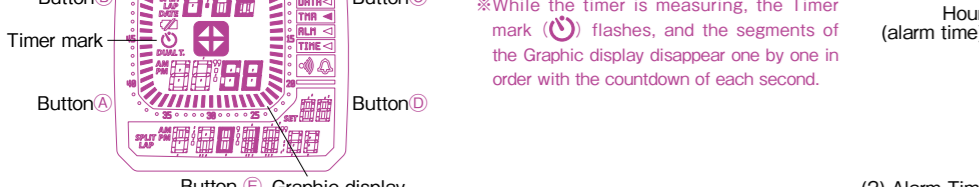
**ILLUMINATING LIGHT (LED BACKLIGHT)**  
 • With each press of a button designated for the illuminating light, the backlight lights up for approximately 2 seconds.

## HOW TO USE THE TIMER



④ After all adjustments are completed, press Button (B) once to deactivate the TIMER SETTING display, and return the display to the TIMER.

③ (3) TIMER Measurement  
 [During countdown]  
 • While the timer is measuring, the Timer mark (C) flashes, and the segments of the Graphic display disappear one by one in order with the countdown of each second.



① Press Button (C) to start the timer countdown. If "2" or more is set for the number of repetitions, the timer starts countdown again after the set time up, and repeats counting down the set time for the number of times you have set.

② To stop the timer while it is measuring, press Button (D). To restart the countdown, press Button (D) again.

③ After the timer countdown has finished, the timer is reset automatically and the display returns to the TIMER. To reset the timer manually, press Button (E) after stopping the timer.

## REMARKS ON THE BATTERY

(1) **Battery Life**  
 When a new normal battery is installed, this watch operates for approximately three years.

(2) **Monitor battery**  
 The battery in your watch may run down in less than two years after the date of purchase, as it is a monitor battery which is inserted at the factory to check the function and performance of the watch.

(3) **Battery change**  
 • For battery replacement, be sure to have the battery replaced with a new one at the retailer from whom the watch was purchased, and request the battery for exclusive use with the ALBA watches.  
 • If the old battery is left in the watch for a long time, a malfunction may be caused due to battery leakage, etc. Have it replaced with a new one as soon as possible.  
 • Battery replacement is charged even if it runs down within the guarantee period.  
 • Once the case back is opened for battery replacement or other purposes, the original water resistant quality designed for the watch may deteriorate when it is closed. When you have the battery replaced with a new one, also request the water resistance test pertaining to the water resistant quality of your watch. If your watch has 10-bar or higher water resistant quality, be sure to have such test performed on the watch every time the battery is replaced.

## NECESSARY PROCEDURE AFTER BATTERY CHANGE (RESETTING THE IC)

• After the battery is replaced with a new one, or if any abnormal display appears, follow the procedure below. The built-in IC will be reset, and the watch will resume normal operation.

Keep Buttons (A), (C), (D) and (E) pressed at the same time for 2 to 3 seconds, and release them after checking that the abnormal display has disappeared. The TIME/CALENDAR display is shown, and make the time/calendar and other necessary settings before using the watch again.

## SPECIFICATIONS

- (1) Frequency of crystal oscillator ..... 32,768 Hz (Hz=Hertz...Cycles per second)
- (2) Loss/gain (monthly rate) ..... Less than 30 seconds (worn on the wrist within normal temperature range between 5°C and 35°C)
- (3) Operational temperature range ..... -5°C ~ 50°C
- (4) Display medium ..... F-STN
- (5) Power source ..... Lithium battery CR2025, 1 piece
- (6) Battery life ..... Approximately 3 years
- (7) IC (Integrated Circuit) ..... Oscillator, frequency divider and driving circuit (C-MOS-IC), 1 piece
- (8) Battery life indicator function

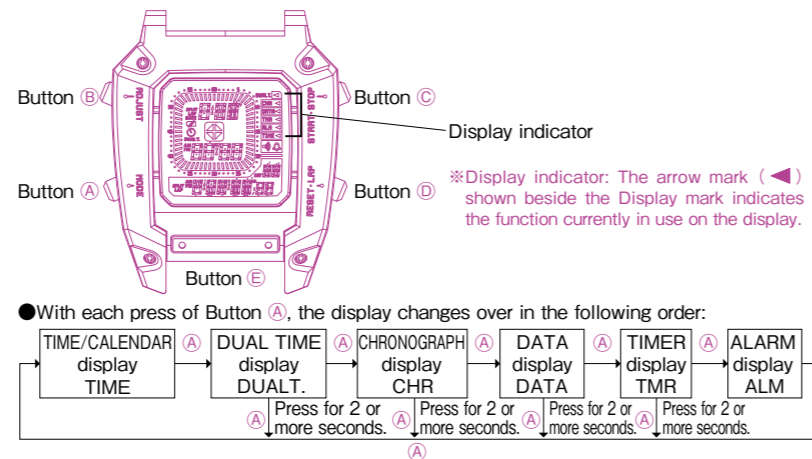
※The specifications are subject to change without prior notice due to product improvements.

## AFTER-SALES SERVICE

• Notes on guarantee and repair  
 • Contact the retailer the watch was purchased from or a SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER for repair or overhaul.  
 • Within the guarantee period, present the certificate of guarantee to receive repair services.  
 • Guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee. Read carefully and retain it.  
 • For repair services after the guarantee period has expired, if the functions of the watch can be restored by repair work, we will undertake repair services upon request and payment.

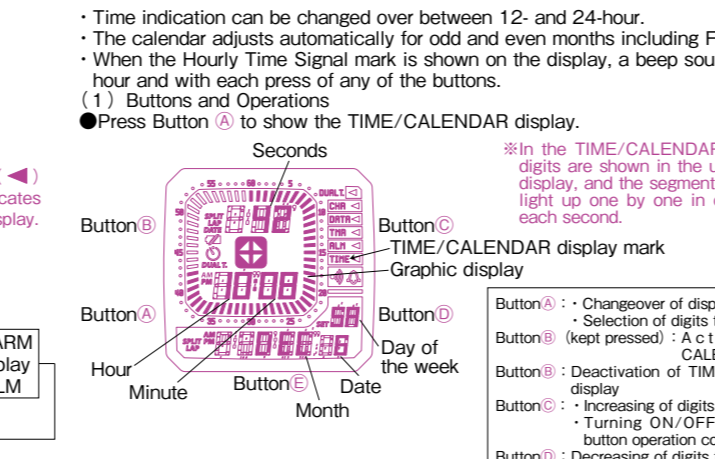
• Replacement parts  
 • SEIKO makes it a policy to typically keep a stock of replacement parts for this watch for 7 years. Replacement parts are those which are essential to maintaining the functional integrity of the watch.  
 • When repairing your watch, please keep in mind that if original parts are not available, parts may be replaced with substitutes whose outward appearance may differ from the originals. Also note that the complete set of parts with the case may be replaced, or if repair is difficult, the watch may be replaced with one of equal quality.

## TIMER NAMES AND CHANGEOVER OF DISPLAYS

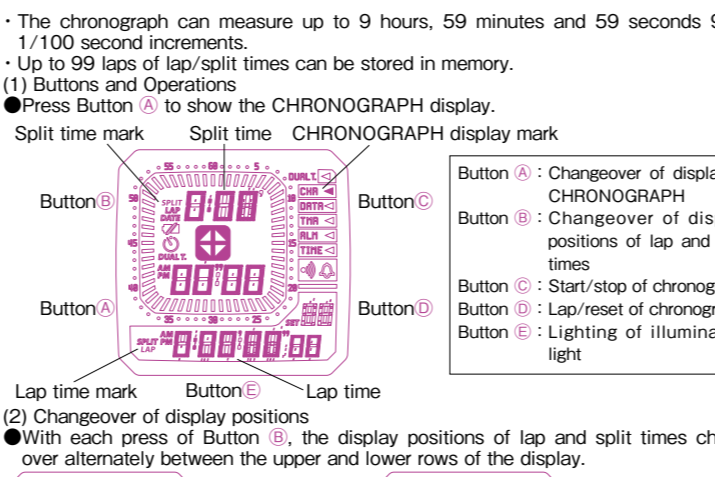


※By keeping Button (A) pressed for 2 or more seconds in any display other than the ALARM, the display shifts directly to the TIME/CALENDAR.

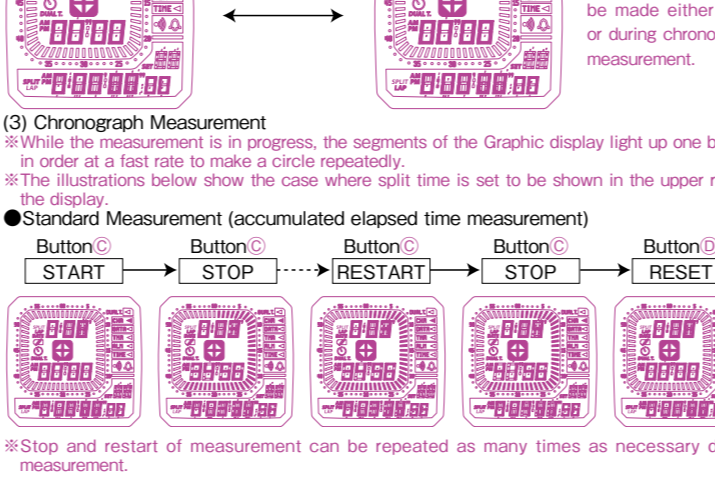
## HOW TO SET THE TIME/CALENDAR



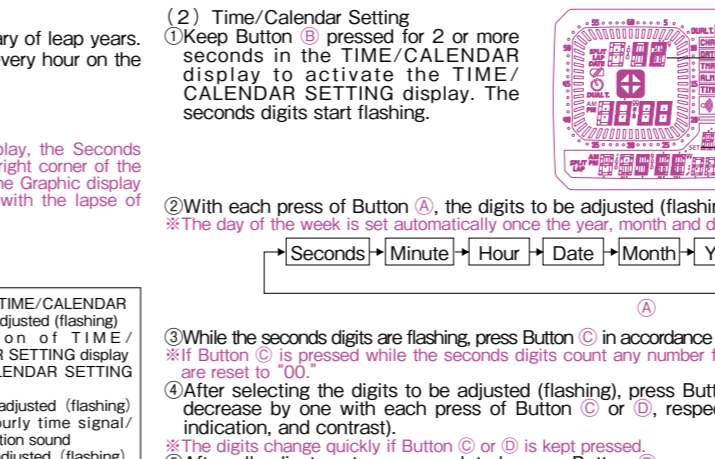
## HOW TO USE THE DUAL TIME



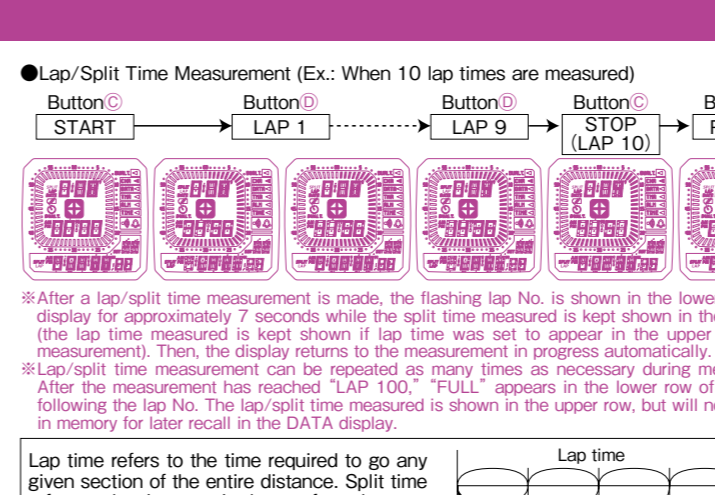
## HOW TO USE THE CHRONOGRAPH



## HOW TO USE THE DATA RECALL FUNCTION



## HOW TO USE THE TIMER



## HOW TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

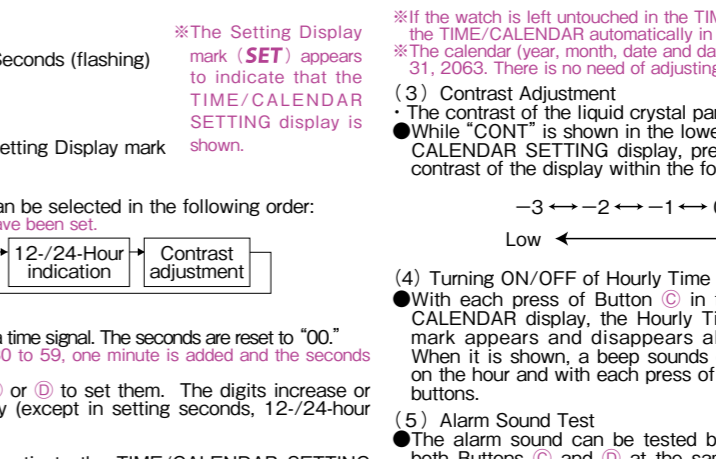
**WARNING**

- Immediately stop wearing the watch in the following cases:
  - If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
  - If the pins protrude from the band
- Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
- Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children. Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the accessories. If a baby or a child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.
- Do not remove the battery from the watch. Battery exchange request specified knowledge and skills, please consult the retailer from whom the watch was purchased. The battery in your watch is not rechargeable. Never attempt to recharge it as this may cause battery leakage, heating or damage to the battery.
- Do not use the watch in scuba diving or saturation diving. The various light-emitted rays under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches.

**CAUTION**

- Avoid wearing or storing the watch in the following places.
  - Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
  - Places where the temperature drops below 5°C or rises above 35°C for a long time
  - Places of high humidity
  - Places affected by strong magnetism or static electricity
  - Dusty places
  - Places affected by strong vibrations
- If you observe any allergic symptoms or skin irritation, stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist.
- Do not pour running water directly from faucet.
- Do not turn or pull out the crown when the watch is wet. Water may get inside of the watch.
- If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
- Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time. Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.
- Do not wear the watch while taking a bath or a sauna. Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.
- Other cautions
  - Do not disassemble or tamper with the watch.
  - Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.
  - When disposing of used batteries, follow the instructions of your local authorities.
  - If your watch is of the bob or pendant type, the strap or chain attached to the watch may damage your clothes, or injure the hand, neck, or other parts of your body.

## HOW TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH



## HOW TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

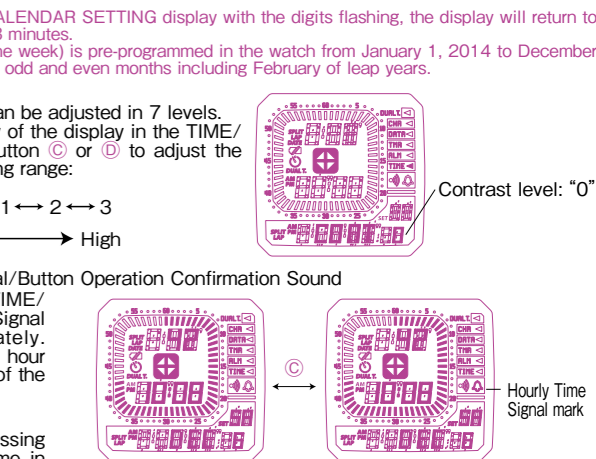
**WARNING**

- Immediately stop wearing the watch in the following cases:
  - If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
  - If the pins protrude from the band
- Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
- Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children. Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the accessories. If a baby or a child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.
- Do not remove the battery from the watch. Battery exchange request specified knowledge and skills, please consult the retailer from whom the watch was purchased. The battery in your watch is not rechargeable. Never attempt to recharge it as this may cause battery leakage, heating or damage to the battery.
- Do not use the watch in scuba diving or saturation diving. The various light-emitted rays under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches.

**CAUTION**

- Avoid wearing or storing the watch in the following places.
  - Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
  - Places where the temperature drops below 5°C or rises above 35°C for a long time
  - Places of high humidity
  - Places affected by strong magnetism or static electricity
  - Dusty places
  - Places affected by strong vibrations
- If you observe any allergic symptoms or skin irritation, stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist.
- Do not pour running water directly from faucet.
- Do not turn or pull out the crown when the watch is wet. Water may get inside of the watch.
- If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
- Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time. Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.
- Do not wear the watch while taking a bath or a sauna. Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.
- Other cautions
  - Do not disassemble or tamper with the watch.
  - Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.
  - When disposing of used batteries, follow the instructions of your local authorities.
  - If your watch is of the bob or pendant type, the strap or chain attached to the watch may damage your clothes, or injure the hand, neck, or other parts of your body.

## HOW TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH



## HOW TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

**WARNING**

- Immediately stop wearing the watch in the following cases:
  - If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
  - If the pins protrude from the band
- Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
- Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children. Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the accessories. If a baby or a child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.
- Do not remove the battery from the watch. Battery exchange request specified knowledge and skills, please consult the retailer from whom the watch was purchased. The battery in your watch is not rechargeable. Never attempt to recharge it as this may cause battery leakage, heating or damage to the battery.
- Do not use the watch in scuba diving or saturation diving. The various light-emitted rays under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches.

**CAUTION**

- Avoid wearing or storing the watch in the following places.
  - Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
  - Places where the temperature drops below 5°C or rises above 35°C for a long time
  - Places of high humidity
  - Places affected by strong magnetism or static electricity
  - Dusty places
  - Places affected by strong vibrations
- If you observe any allergic symptoms or skin irritation, stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist.
- Do not pour running water directly from faucet.
- Do not turn or pull out the crown when the watch is wet. Water may get inside of the watch.
- If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
- Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time. Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.
- Do not wear the watch while taking a bath or a sauna. Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.
- Other cautions
  - Do not disassemble or tamper with the watch.
  - Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.
  - When disposing of used batteries, follow the instructions of your local authorities.
  - If your watch is of the bob or pendant type, the strap or chain attached to the watch may damage your clothes, or injure the hand, neck, or other parts of your body.

## HOW TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

**WARNING**

- Immediately stop wearing the watch in the following cases:
  - If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
  - If the pins protrude from the band
- Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
- Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children. Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the accessories. If a baby or a child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.
- Do not remove the battery from the watch. Battery exchange request specified knowledge and skills, please consult the retailer from whom the watch was purchased. The battery in your watch is not rechargeable. Never attempt to recharge it as this may cause battery leakage, heating or damage to the battery.
- Do not use the watch in scuba diving or saturation diving. The various light-emitted rays under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches.

**CAUTION**

- Avoid wearing or storing the watch in the following places.
  - Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
  - Places where the temperature drops below 5°C or rises above 35°C for a long time
  - Places of high humidity
  - Places affected by strong magnetism or static electricity
  - Dusty places
  - Places affected by strong vibrations
- If you observe any allergic symptoms or skin irritation, stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist.
- Do not pour running water directly from faucet.
- Do not turn or pull out the crown when the watch is wet. Water may get inside of the watch.
- If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
- Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time. Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.
- Do not wear the watch while taking a bath or a sauna. Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.
- Other cautions
  - Do not disassemble or tamper with the watch.
  - Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.
  - When disposing of used batteries, follow the instructions of your local authorities.
  - If your watch is of the bob or pendant type, the strap or chain attached to the watch may damage your clothes, or injure the hand, neck, or other parts of your body.

## HOW TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

• Water resistance

Refer the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.

Indication on the case back	Water resistant performance	Condition of use
No indication	Non-water resistance	Avoid drops of water or sweat
WATER RESISTANT	Water resistance for everyday life	The watch withstands accidental contact with water in everyday life. ⚠️ Not suitable for swimming
WATER RESISTANT 5 BAR	Water resistance for everyday life at 5 barometric pressures.	The watch is suitable for sports such as swimming.
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	Water resistance for everyday life at 10(20) barometric pressures.	The watch is suitable for diving not using an air cylinder.

• Band  
 The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust. Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge of shirts. The watch requires a lot of attention for long usage.

• Metallic band  
 • Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.  
 • Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.  
 • Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible.

• Leather band  
 • A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.  
 • Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.  
 • Do not expose the watch to direct sunlight for a long time.  
 • Please take care when wearing a watch with light-colored band, as dirt is likely to show up.  
 • Refrain from wearing a leather band other than Aqua Free bands while bathing, swimming, and when working with water even if the watch itself is water-resistant enforced for daily use (10-BAR water resistant).

• Polyurethane band  
 • A polyurethane band is susceptible to discoloration from light, and may be deteriorated by solvent or atmospheric humidity.  
 • Especially a translucent, white, or pale colored band easily adsorbs other colors, resulting in color smears or discoloration.  
 • Wash out dirt in water and clean it off with a dry cloth.  
 • (Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)

• When the band becomes less flexible, have the band replaced with a new one. If you continue to use the band as it is, the band may develop cracks or become brittle over time.

Notes on skin irritation and allergy  
 Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.

Notes on the length of the band  
 Adjust the band to allow a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. When wearing the watch, leave enough room to insert a finger between the band and your wrist.

• Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul)  
 • Periodic inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) is recommended approximately once every 3 to 4 years in order to maintain optimal performance of the watch for a long time. According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate. Abrasion of the parts due to contamination of oil may advance or delay the time significantly, or the watch itself may stop. As the parts such as gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture. Please contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul). For replacement of parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS." When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul), make sure that the gasket and push pin are also replaced with new ones.  
 When your watch is inspected and adjusted by disassembly and cleaning (overhaul), the movement of your watch may be replaced.

## HOW TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

• Water resistance

Refer the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.

Indication on the case back	Water resistant performance	Condition of use
No indication	Non-water resistance	Avoid drops of water or sweat
WATER RESISTANT	Water resistance for everyday life	The watch withstands accidental contact with water in everyday life. ⚠️ Not suitable for swimming
WATER RESISTANT 5 BAR	Water resistance for everyday life at 5 barometric pressures.	The watch is suitable for sports such as swimming.
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	Water resistance for everyday life at 10(20) barometric pressures.	The watch is suitable for diving not using an air cylinder.

• Band  
 The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust. Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge of shirts. The watch requires a lot of attention for long usage.

• Metallic band  
 • Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.  
 • Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.  
 • Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible.

• Leather band  
 • A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.  
 • Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.  
 • Do not expose the watch to direct sunlight for a long time.  
 • Please take care when wearing a watch with light-colored band, as dirt is likely to show up.  
 • Refrain from wearing a leather band other than Aqua Free bands while bathing, swimming, and when working with water even if the watch itself is